

夏の公募展規定に「自分で書いたものを出品してください」とあった。

当たり前でおもしろい、そして、なぜか不思議な規定。

弟子からは「他人が書いたものが、出品されたの？」

誰もが思うことかもしれない。

作品には、書き手がでる。下手に書けば書くほど顔が見える。

怖いことだ。13日金曜日、外は嵐、月は見えない。



見えます。



とらお 記

寄席を

自分が書かないで誰が書く。

① キジか？ 猿か？ 桃太郎か？

桃太郎。桃太郎言えば英樹じゃないか。いや、マーサだ。

座布団1枚持っていけー。

② ママー書いて。パパー書いて。先生に書いてもらいなさい。

ゆとり書きだ。

座布団1枚持っていけー。

③ 私は書いてもらいました。私も書いてもらいました。

私も書いてもらいました。

私は最高賞をいただきました。 えー。ありー。

私はありではなく、えりです。

座布団1枚持っていけー。

とらお 記

